

WEB面接・録画面接試験 実績（令和2年度実施分）

■WEB面接・録画面接の概要

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点、また今後のウィズコロナ・アフターコロナ社会の到来を見据え、新規採用職員選考においてスマートフォンやパソコンを利用したWEB面接・録画面接試験を、県内自治体としては初めて令和2年度から導入。

《採用試験の流れ／一般行政B》

【1次試験】録画面接（質問に対して、1分以内の動画提出。2問）

※令和元年度までは、SPI以前の審査は無し

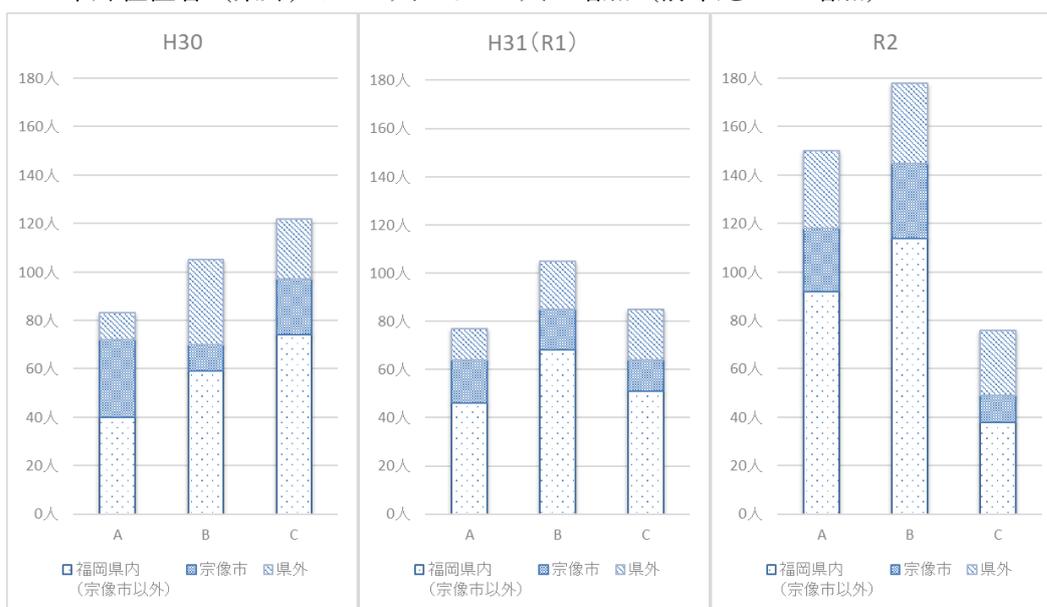
【2次試験】SPI適性検査（テストセンター）

【3次試験】WEB面接 ※令和元年度までは対面での個別面接

【4次試験】最終面接（市役所での対面個別面接）

■受験者数（一般行政A・B・C）

- ・受験者数合計は267人から404人に増加（前年比51%増加）
- ・市外在住者（県内）は165人から244人に増加（前年比48%増加）
- ・市外在住者（県外）は54人から92人に増加（前年比70%増加）



■導入による成果

- ・受験者数（特に市外在住者）の大幅な増加。
- ・移動や密を避けた安全な試験の実施（新型コロナウイルス感染拡大防止）
- ・受験者の移動時間や交通費などのコストの削減
- ・録画面接の導入により、志望度による一次選考が可能となった

■見つかった課題と対応策

- ・WEB面接マニュアルなどが充実してきており、面接官のスキルアップが求められる。
 - 【対応策】専門家のアドバイス、面接官への事前研修を実施
- ・さらなる受験者獲得のため、WEB上でのPR強化をはかる必要がある。
 - 【対応策】募集動画での職員紹介・仕事紹介をより多岐にわたる内容に拡充